

あのね、保育の根 No.3

～しゃんのおたより～ 6月



✿ごあいさつ

第3弾はおしゃべり大好き、主幹の大井が担当します。事務所にいたり、クラスの保育に入っていたり、お掃除していたり、たま～にですがバスに乗ったりと色んな所に出没します。事務所では「メガネの大きな先生」のお隣で、ひとり賑やかに仕事をしております..笑

✿選択の自由

さて、ここからは真面目に書いていきます。前回の“ふくえんちょうのおたより”で「秩序のある生活」について触れていたと思います。今年の3月に職員で話し合いをしました。先生たちそれぞれが考える秩序とは..これからもっと広い社会で過ごしていく子ども達に、今示していける秩序とは..?そういった内容です。(廊下にその時の内容を掲示しておりますので、興味のある方はご覧ください✿)

「自由」は色々な捉え方があると思います..この園で、わたしが考える「自由」は「何でもやっていい自由」ではなく「選択の自由」です。印西ひかりこども園の保育方針には“「人として生きる力の基礎」を培う”という一文があります。「子ども自ら満足して遊ぶこと」は、やらされているわけではなく「選択の自由」があるからなのではないかと..そう思っています。

0.1歳児の時期からできる具体的な取り組みとして、どのタイミングで戸外遊びに行くか、今何の遊びをしようか、お部屋に入ろうか、お腹空いたからごはん食べに行こうかな、どの洋服に着替えようかな、そろそろ眠くなってきたから布団にゴロンとしようかな..もう少し遊ぼうかな等、たくさん選択できる場面があります。もちろん1日の大きな流れはおとなが作っていきますが、その中で子ども自身(個々)が選択できるような環境を作ることを心掛けていきます。

日々の小さな選択を繰り返し、3.4.5歳児へと積み重ねていく中で、自分たち(友達同士)で遊びを見つけ、グループやクラスのみんなで遊びやルールを決めたり、最終的に自発的に物事を決めて進めていけるようになっていってほしいなという願いがあります。これは小学校、中学校、おとなになっても重要なことだと思います。今はその基盤を作っていく大事な時期..わたしたちはその大事な時期を任せていただいているというわけです。

「自由な選択」は「秩序ある生活」があった上でのものだと考えています。1人ひとりが生活や遊びの中での選択を繰り返し、友達との関わりが広がっていくことで、協力することが必要になってきます。集団生活の中では約束事やルールというものがなければ「何でもやっていい自由」になってしまう..では、先生たちが考える秩序とはどんなものなのだろうか?というのが、はじめに述べた会議のお話です。

みんなで過ごす場所には約束事やルールが生まれます。ほとんどの子にとって園生活は、家族という集団から出て初めての社会生活。みんなが気持ちよく過ごすための「秩序ある生活」を特に意識していきたいと思っています。

✿まとめ

今回は「選択の自由」というところに触れ、「やりたい」という選択のお話をしましたが、反対に「やらない」という選択もあると思います。しかし「やりたくなければやらなくていい」で終わらせてしまうのも違う..

このままそのことについてもお話したいところですが、文字数がそろそろ限界を迎えます..それは次回お話できると良いなと思います。

続